

年頭のごあいさつ



財政の健全化から

郷土の資源をいかしたまちづくりへ

新年明けましておめでとうございます。今年も町民の皆様にとって、良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。

昨年は、北海道洞爺湖サミットが当地で開催され、洞爺湖町が歴史に名を刻んだ忘れられない年となりました。約1年にわたる町民挙げての準備活動（おもてなし）は、各国首脳を始め、随行員、マスコミ関係者などにも高く評価され、世界に洞爺湖町をアピールすることができました。

サミット後も入江・高砂貝塚を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、文化庁から国内における世界文化遺産候補として選出されたり、「洞爺湖有珠山地域」が、世界ジオパーク国内推薦地域に決定するなど、サミットを機に郷土の資源が、改めて国内外に注目を浴びる喜ばしい年でもありました。今後このような状況を積極的に活用し、環境問題への継続的な取組みと合せ、町政発展へとつなげていきたいと考えております。

一方大きな課題として財政の問題が大きいのしかかってきています。

厳しい財政状況を払拭すべく、これまで職員の人件費のカット、事務事業の見直しなど全庁挙げて財政健全化に向けて努力を重ねてまいりましたが、依然として厳しい状態が続いており、強い決意を持って臨まざる負えない事態に至っております。

洞爺湖町として船出をして2年が経ち、明確な羅針盤が必要な状況を迎えています。

私達の郷土（ふるさと）は、世界が認めるほどに他に負けない資源がたくさんあります。このような財産を生かしていくためにも、健全化への方向性をはっきり打ち出し、町民の先頭に立ってサミット開催地として誇れる町に再生していくことを年頭にあたり深く胸に刻む次第です。

最後に町民の皆さんから信頼を得て、厳しい状況を乗り越えていかなければならないこの時期、高額療養費の未請求問題や納税係の職員の不祥事が発生いたしました。誠に遺憾に思うと同時に町民の皆さんには深くお詫びする次第です。今後事務事業を総点検し、再発防止に取組んでまいります。また職員規律や奉仕者としての意識の徹底を図り、町民皆さんの信頼回復に努めてまいります所存です。

なお、例年町民各位から年賀のご挨拶をいただいておりますが、返礼は公職選挙法に抵触することから、まことに申し訳ありませんが、差し控させていただきますことをご理解いただきたいと思います。

平成21年 1月 吉日

洞爺湖町長 長崎 良夫

